

鹿児島県漁海況週報

平成22年11月11日発行(11月4日～11月10日)
第2379報(旧暦:9月28日～10月5日/月齢27.3～3.9/潮汐:中潮～中潮)



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218
HP: http://kagoshima.suigi.jp/

【海況】

黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

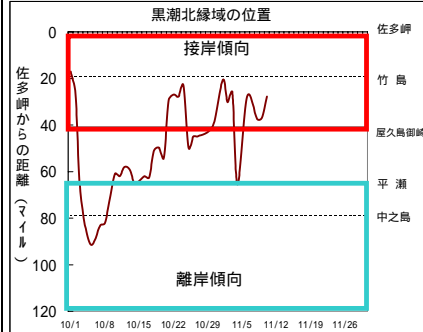
黒潮北縁域は11月10日現在、竹島の南8.7マイル付近と接岸傾向にある。

黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は11月9日現在、27マイル付近にある。

定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して0.1～1.5 降温した。平年比較では、甌海峡で“やや高め”、佐多岬、笠利崎で“やや低め”となった他は“平年並み”となった。



表面水温

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	25.2	-1.0	-0.3	平年並み
鹿児島	22.2	-0.9	+0.0	平年並み
佐多岬	22.6	-0.8	-0.8	やや低め
竹島	24.1	-1.5	-0.4	平年並み
屋久島御崎	24.9	-0.5	+0.0	平年並み
中之島	25.1	-0.7	-0.1	平年並み
笠利崎	24.3	-0.8	-0.4	やや低め
与路島	24.9	-0.5	-0.2	平年並み
与論	25.6	-0.1	+0.3	平年並み
甌海峡	22.8	-0.9	+1.0	やや高め
甌島西	-	-	-	-

鹿児島 - 那覇定期客船観測は11/10-11
串木野 - 甌定期客船観測は11/11
甌島西(浮魚礁)観測は欠測

【漁況】

定置網

甌島海域では、カンパチ(600g)が30～100尾/日、シイラ(2～3kg)が80kg/日の入網。西薩南部海域では、マアジ(60～70g)が3トン/日、サワラ(400～700g)が300～400kg/日、アカマス(80g)が200～300kg/日、シイラ(1kg)が200尾/日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、カンパチ(0.7～1.5kg)が200～300尾/日、フリ(1kg)が1日のみ1000尾、ハシロウガキ(27～36kg)が1日のみ4尾の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、マサワラ(8～15kg)が週計で20尾の入網。大隅半島東部海域では、週計で46尾がソウダガツオ、サハ類中、チウオ主体に27トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でマアジ、アカマス、ヒラソウダ主体に23.2トンの入網。熊毛海域では、カンパチ(3kg)が1トン/日、ハカツオ(2kg)が90～120尾/日の入網。

フリ網付

甌海域では、3kgサイズを200尾/統・日の漁。西薩南部では、3～5kgサイズを50～150尾/統・日の漁。鹿児島湾口部薩摩半島側では、1kgサイズを10尾/統・日、3.5kgサイズを100尾/統・日、5kgサイズを100尾/統・日、8kgサイズを20尾/統・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、2～3kgサイズを150尾/統・日の漁。大隅半島南部海域では、3～8kgサイズを100～160尾/統・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ平均の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日1統	評価	前週		前年同期	
								隻数	漁獲量	隻数	漁獲量
旋網	阿久根	大	3	21	天草沖 牛深沖 甌東	サハ類小74 マアジ小15	6.8	2	36	1	30
		中	6	83	野間池沖 長島	サハ類小42 マアジ仔13 サハ類豆11	13.9	2	5	4	16
	枕崎	大	8	564	湯瀬 竹島 坊津沖 島間沖	ゴマサハ豆73 ウルメイワシ16	70.5	3	218	2	60
		中	38	553	坊津沖 種子島東 湯瀬 枕崎沖	ウルメイワシ45 ゴマサハ豆26 マルソウダ8	14.6	11	171	6	128
	内之浦	中	3	7	内之浦沖	サハ類中77 ソウダガツオ7 マアジ6	2.3	2	16	1	1
	山川	中	0	-			-	0	-	0	-
計	大	11	585			53.2	5	254	3	90	
	中	47	643			13.7	15	193	11	145	
東海旋網	阿久根	1	104		サハ類小78 サハ類豆11 モロ10	103.9	0	-	0	-	
	枕崎	1	85		マサハ豆45 マサハ中小27 マルソウダ24	85.0	0	-	0	-	
棒受網	阿久根	40	38	阿久根沖 長島	キビナゴ58 ウルメイワシ38	1.0	1	0.6	10	6	
	内之浦	0	-			-	0	-	0	-	
定置網	内之浦	46	27		ソウダガツオ38 サハ類中19 チウオ10	0.6	45	36	54	20	
刺網	阿久根	55	6	甌 阿久根沖 長島	キビナゴ100	0.1	22	2	25	4	
カツオ竿釣	枕崎	大	0	-		-	0	-	1	300	
		小	0	-		-	0	-	1	2	
	海旋	大	0	-		-	1	685	4	1,563	
		小	0	-		-	-	-	-	-	-
海外旋網	山川	中	10	110		キルダ56 カツオ小31 シイラ9	11.0	0	-	1	3
	海旋	0	-			-	1	401	2	1,506	
	瀬戸内	小	0	-		-	-	-	-	-	

パッチ網

西薩南部海域では1日のみ製品で1.3トン/統・日の漁。志布志湾海域では、製品で9.2トンの入札があった。

トビウオロープ曳網

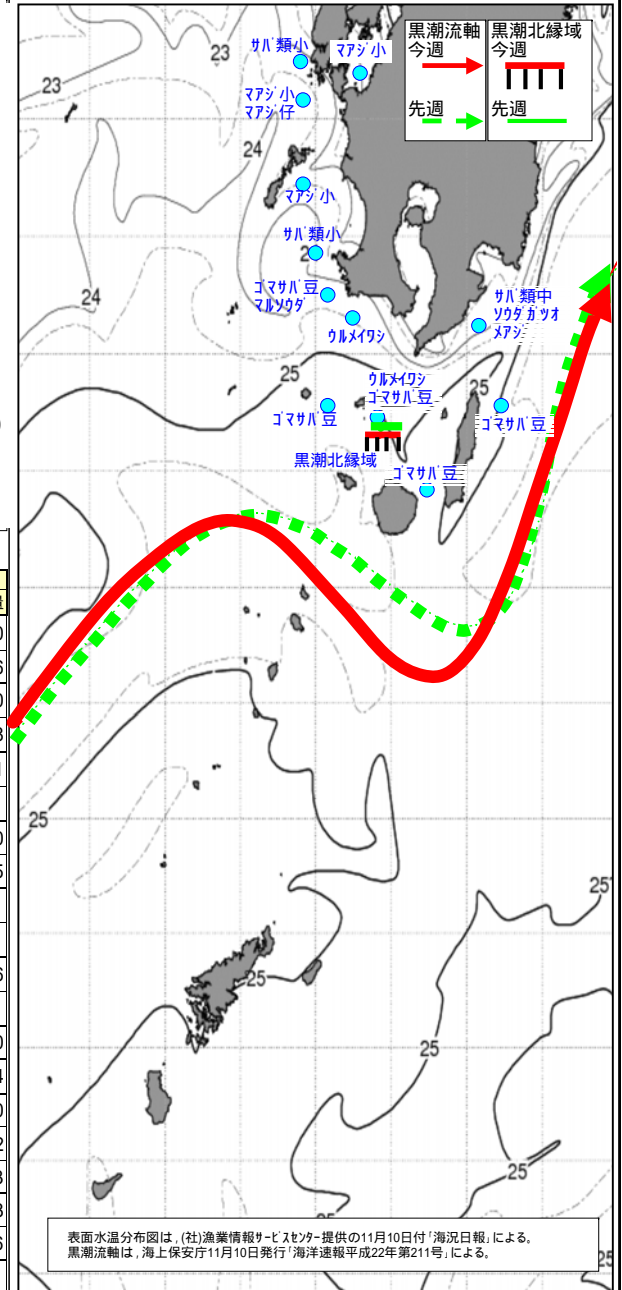
屋久島海域では中比を12～16箱/統・日の漁。

キビナゴ刺網

甌海域では4～8箱/隻・日の漁。

その他

甌海域では、曳縄でキルダ(2kg)を200～400kg/隻・日の漁。西薩海域では、ごち網でタイ(200～400g)を200～300kg/隻・日、延縄でタイ(300～400g)を50～60kg/隻・日、一本釣でカンパチ(700～800g)を20～30kg/隻・日、底曳網でツヒガイを多い船で40～50kg/日の漁。西薩南部海域では、ごち網でタイ(200～300g)を10～20kg/隻・日、マアジ(300～400g)を10kg/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、一本釣でゴマサハ(200～300g)を20～30kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、底曳網でマアジ(1～2kg)を30～40kg/隻・日、タイ(200～400g)を30～40kg/隻・日、曳縄でチウオ(200～300g)を多い船で10～20kg/日の漁。熊毛海域では、旗流してハシロウガキ(20～30kg)を多い船で5尾/日の漁。奄美南部海域では、3～4日操業の旗流してデカイ(胴体のみで5～7kg)を12～18本/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の11月10日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁11月10日発行「海洋遠程観測22年211号」による。